

日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会

Injury Alert (傷害速報)

No. 57 複数個の磁石の誤飲

事例	年齢：1歳5か月 性別：男 体重：11kg 身長：80cm	
傷害の種類	複数個の磁石誤飲	
原因対象物	貼付式磁気医療製品（バンソウコウ部の直径は22mm）	
臨床診断名	異物誤飲	
医療費	29,630円	
発生状況	発生場所	自宅の玄関
	周囲の人・状況	本人は玄関でベビーカーに乗った状態。母は先に家にあがり玄関を掃除していた。
	発生年月日・時刻	2015年5月9日 午後5時00分
	発生時の詳しい様子と経緯	外出先から帰宅した時に、兄が買ったばかりの円形のバンソウコウと磁石が一体となった製品の袋を持って遊んでいたのを母は確認していた。その後兄をベビーカーに残した状態で、母は家に先にあがり玄関を掃除していた。数分後、製品の袋に穴が開いており製品のバンソウコウから磁石がはがされ、磁石のみが6個なくなっているのに母が気づき、玄関周囲を探したが、見つからなかった。複数の磁石を誤飲した可能性が考えられたため、救急車にて当院を受診した。
治療経過と予後	受診時に発熱は認めずその他のバイタルサインは安定していた。来院時より機嫌良好で嘔気、嘔吐、腹痛などの消化器症状も認めなかった。また咳き込みなどの気道異物を疑う所見も認めなかった。腹部X線検査にて上部小腸に、6個連なった磁石を認めた。腹部症状がまったくなく、すでに磁石は胃を越えた腸管内にあることから外科医と相談し、経過観察となった。家族には翌日再診を指示するとともに、排便の際に異物混入を確認すること、消化管穿孔が疑われる所見があればすぐに受診するよう説明した。翌日の再診時、バイタルサインの悪化や腹部症状の出現はなく、腹部X線検査では前日と比較し磁石が肛門側へ進んでいることが確認できた。同日午後排便とともに連なった磁石が6個排出されたことを家族が確認した。誤飲した日より3日後に当院を再診。腹部X線検査で異物の残存がないことを確認し終診とした。	

【こどもの生活環境改善委員会からのコメント】

1. 生後半年から2～3歳頃に好発する異物誤飲の事例である。今回の事例で誤飲された製品は、永久磁石をバンソウコウに接着させたものであり、健康商品として古くから存在している。国内に広く流通しており、子どもたちが家庭内で容易に入手できるものでもある。本製品を製造する企業のホームページでは、特に乳幼児や高齢者を対象に誤飲に対する注意喚起がなされており、その背景に誤飲した事案が発生しているものと思われる。
2. 複数の磁石を同時に誤飲すると、腸管内の別々の場所に存在する磁石が腸管壁を間に挟んで接着されてしまい、固定してしまうことがある。その結果消化管穿孔や腸閉塞を起こした小児症例が国内外で多数報告されている^{1)～5)}。
3. アメリカ疾病予防管理センター（Centers for Disease Control and Prevention）からの報告では、おもちゃの一部として使用されている磁石をこどもが誤飲した事例が3例紹介され、製品のリコールを行ったことも紹介されている⁶⁾。
4. 本製品はバンソウコウから磁石を取り外すことが容易にできる。バンソウコウで接着されたままで複数個を誤飲することは困難であるため、容易に外せない構造にすることで複数個の誤飲を防ぐことができる可能性はある。

参考文献

- 1) Kim Y, et al. J of Pediatric Surgery Case Report. 2014 ; 2 : 130-2.
- 2) Tavarez, et al. MM, et al. J Emerg Med. 2013 ; 44 : 261-8.
- 3) 原田 務. 日小誌. 1993 ; 97 : 1688
- 4) 飯沼泰史ら. 日本腹部救急医学会雑誌. 1994 ; 14 : 1091-3.

- 5) 佐野信行ら. 日小外誌. 2005; 41: 679-83.
- 6) Centers for Disease Control and Prevention (CDC). Gastrointestinal Injuries from Magnet Ingestion in Children. <http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm5548a3.htm>

【投稿のお願い】 重症度が高い傷害を繰り返さないために、傷害の発生状況をできる限り正確に記載して投稿してください。コメントや考察の必要はありません。

投稿様式は学会のホームページ (<http://www.jpeds.or.jp>) の会員専用ページからダウンロードして、こどもの生活環境改善委員会に郵送、または専用 e-mail アドレス (injury@joy.ocn.ne.jp) にお送りください。

投稿先：〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-5 第一馬上ビル 4F

日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会「傷害速報」係

傷害速報 (Injury Alert) 類似事例の記載について

こどもの生活環境改善委員会では、今までに56編の傷害速報 (Injury Alert) を学会誌と日本小児科学会ホームページに掲載し、同じ傷害を繰り返さないために傷害予防を呼びかけて参りました。しかし、同じような傷害の発生が後を絶たず、学会誌に掲載された傷害と同じ例を経験したなどのコメントが多くあります。

同じ傷害が起こっているという事実は「傷害予防」のためには重要な情報です。同じ傷害が頻発している事実を公的に発表するため、HP上にて「類似事例」を掲載することにいたしました。

つきましては、掲載された傷害速報の事例と同じような例を経験された際は、類似事例としてご投稿ください。

【投稿方法】

傷害発生日時、児の年齢、性、簡単な傷害の経緯等を簡潔な文章 (2~3行)、もしくは類似事例用投稿フォームにまとめて下記のE-mailアドレス宛てに直接お送りください。また、ご連絡先もご明記ください。

事例は日本小児科学会の一般向けホームページに掲載されます。(学会誌には掲載されません)

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1番地5号 第一馬上ビル 4F

日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会「傷害速報」係

専用 E-mail アドレス：injury@joy.ocn.ne.jp